

【DX計画 令和2年度実績調査 個別計画状況表】

進捗度の凡例	
計画より早く進んでいる	◎
計画どおり進んでいる	○
計画より遅れている	▲

計画の柱 1. 多様なライフスタイルに対応した行政サービス

(1) 行政手続きの原則オンライン化

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番		
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール	
①	申請のオンライン化	申請のオンライン化	各課	デジタル戦略課	申請件数等により優先順位を決定し、順次電子申請の対応を開始	▲	—	令和2年度調査対象は分類①の項目とし、220項目中10項目をオンライン化した。 なお、13項目を新たに追加し11項目をオンライン化した。 分類①/221項目(対面の必要がない申請) 分類②/29項目(手数料が生じる申請) 分類③/157項目(対面が必要な申請)	対象とする申請のオンライン化を完了	対象とする申請のオンライン化を完了	1	
②	電子申請に伴う手数料のオンライン納付の導入	手数料のオンライン納付の導入		デジタル戦略課	検討、導入	▲	—	オンライン納付のツールとしては、クレジットカードによる対応として、システムの構築を行った。運用開始は令和3年6月を予定している。		導入	2	
③	口座振替の申請のオンライン化	Webシステムの導入		収税課	検討	○	—	現在行っている事務処理行程には変化はなく、事務処理量も減らすことはできないと考えられる。費用対効果の面でも今すぐ導入すべきとは考えられない。よって、令和3年度に導入する計画を見送ることとした。 ただし、納税者の利便性を図るうえでの本システムの必要性について、社会のデジタル化の動向を見極めながら引き続き検討していくこととする。	導入	検討	3	
④	入札の電子化	入札の電子化		財政課	検討	○	—	令和2年度中に、電子入札(物品・役務)システムを新規導入。工事・コンサルにおいても、予定価格事後公表案件に対象を拡大し、令和3年度から、原則、全ての入札案件を電子入札システムで執行する。	導入	運用開始	4	
⑤	コンビニ交付サービスの利便性向上	対象証明書の拡大		税務課 市民課	検討	○	—	【納税証明書】 笠間市の証明書の仕様について、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)によるコンビニ交付の仕様が対応しないため、現状では導入することができないと判明した。 【戸籍関係】 システム改修に数千万円の費用を要する。引き続き費用対効果を検証し導入に向けて検討していく。	システム調整	検討	5	
		対象年度の拡大		税務課	検討、システム調整	▲	—	【所得証明書・課税証明書】 令和3年度に証明書の年度切替対応時(6月)に併せて、システム調整を実施することとした。	運用開始	システム調整・運用開始	6	
		利便性向上に向けた取組の検討		デジタル戦略課	検討	▲	—	利便性向上に向けた手数料の減額措置は令和2年度末で終了とした。今後は対象証明書の拡大による利便性向上を検討していく。		検討	7	
⑥	公共施設のオンライン予約システムの導入	公共施設の予約について、オンライン予約システムを導入し、予約の利便性向上を図ります。	公共施設のオンライン予約システムの導入	デジタル戦略課	公民館ほか	検討	○	—	令和3年度の導入に向けて、関係課と調整を図り仕様を確定した。	導入	導入	8
⑦	無人窓口(非対面・非接触型)の導入検討	○市民課の窓口「書かない窓口」システムを導入しますが、これとテレビ会議システムを組み合わせて、対面することなく行政手続きを行う仕組みについて、実証実験を行います。	無人窓口(非対面・非接触型)の導入検討	デジタル戦略課		検討	○	—	令和3年2月に市民課に「かんたん窓口システム」を導入した。本システム運用状況を踏まえ、設置場所、取扱業務などを検討したが、結論にはいたらなかった。引き続き無人窓口の導入に向けて検討していく。	実証実験の開始	実証実験の開始	9

【DX計画 令和2年度実績調査 個別計画状況表】

進捗度の凡例	
計画より早く進んでいる	◎
計画どおり進んでいる	○
計画より遅れている	▲

計画の柱 1. 多様なライフスタイルに対応した行政サービス

(2) 手続きの簡略化

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
①	キャッシュレス決済の導入	○窓口での手数料や公共施設の利用料の支払いについて、電子マネーやクレジットカード、QRコード決済に対応します。	キャッシュレス決済の導入	デジタル戦略課	検討、導入	▲	—	当初、市民課及び税務課で導入を進めていたが、POSSレジスターを導入することになったため、令和3年度に導入を延期した。	導入	10	
②	ライフイベントの手続きにおける「書かない窓口」の導入	○市民課の窓口に「書かない窓口」システムを導入し、転入・転出・出生等のライフイベントに関する手続きをより簡単に行えるようにします。 ・マイナンバーカードや運転免許等の券面情報をスキャンにより読み取り、申請者が申請書を書く手間を削減します。 ・タブレット端末に質問事項を表示し、申請者に回答を選択していただくことで必要な手続きを判別できる仕組みを導入し、手続きの案内漏れを防ぎます。	「書かない窓口」の導入	市民課	デジタル戦略課	導入	○	導入完了	令和3年2月から導入。特設コーナーにおいて職員が申請書の作成をサポートしている。当面は、高齢者と障がいをお持ちの方を対象とし、新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながらサポートの対象を広げていく。	対象者の拡大 対象窓口の拡大	11
③	申請の予約システムの導入	○行政手続きや行政サービスの申請について、予約システムを導入し、利用者の利便性の向上を図ります。 ・引越し等の手続きについて、特に3～4月の繁忙期は窓口が込み合うため、電子申請による事前申請の対応や、転出者に対してマイナンバーカードを利用した特例転出制度を周知するなどし、待ち時間や手続きにかかる時間を削減します。 ・子育てに関する相談について、利用者の希望に応じて、事前予約ができるように検討します。 ・市が実施する集団健(検)診を予約制とし、これに伴いWeb予約システムを導入します。	引越し等の手続きにおける事前申請の導入	市民課	デジタル戦略課	検討、導入	▲	—	引越しの手続きは、家族構成等により関係する手続きが複数あることから、事前に申請を受け付け、関係する手続きを紹介できるような電子申請で行えるよう検討したが、導入までにはいかなかった。また、マイナンバーカードを利用した特例転出制度は、カードに搭載されている情報がそのまま住基システムに反映され、効率化が図れるため、カードの交付件数を増やしていく。	検討、導入	12
			子育て等に関する相談の予約	健康増進課	社会福祉課、子ども福祉課、高齢福祉課、こども育成支援センター	検討、導入	○	導入完了	保健福祉部5課で使用する「子育て・福祉ウェブ予約」システムを市公式ホームページ内に構築し、令和3年3月より供用を開始した。		13
			集団健(検)診のWeb予約システムの導入	健康増進課		導入	○	導入完了	令和2年10月実施の集団健診より、Web予約を開始した。		14
④	申請書の押印を原則廃止	○利用者が窓口で申請書を提出する場合の押印を原則不要とし、申請の簡易化を図ります。	申請書の押印を原則廃止	総務課	運用開始	○	導入完了	令和2年度に1,570件の行政手続のうち1,136件の押印を廃止した。その他は、国等の法改正後となるものや条例改正のため、順次改正を実施していく。		15	

【DX計画 令和2年度実績調査 個別計画状況表】

進捗度の凡例	
計画より早く進んでいる	◎
計画どおり進んでいる	○
計画より遅れている	▲

計画の柱 1. 多様なライフスタイルに対応した行政サービス

(3) 行政サービスのオンライン化

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
①	オンライン相談システムの導入	子育て・福祉に関する相談サービスのオンライン化	健康増進課	社会福祉課、子ども福祉課、高齢福祉課、こども育成支援センター	検討、導入	▲	—	「子育て・福祉ウェブ予約システム」の構築と合わせて、オンライン相談用端末を導入予定だったが、市場の品薄状況により、調達が困難だったため、令和3年度に端末を整備し、オンライン相談を開始する予定である。	検討、導入	16	
②	オンライン講座の導入	高齢者の生涯学習の機会を提供するため、公民館講座の動画配信を行い、自宅で講座を受講できるようにします。	公民館		運用開始	○	導入完了	令和2年度は全15講座を配信した。令和3年度も引き続き実施していく。			17
		オンライン講座の利用者を増やすため、タブレットやスマートフォンの使い方、Web会議システムの利用方法を学ぶことができる講座を実施します。そのために、公民館内に無線LANを導入します。	無線LANの導入	公民館		導入	○	導入完了	令和2年11月5日に全館に整備し運用を開始した。		
③	オンライン面接の導入	職員採用試験の面接にオンライン面接を導入し、遠方にお住いの方など、どのような状況の方でも安心して受験することができる環境をつくります。 ○採用試験の申込みについて、電子申請に対応します。	秘書課		検討	○	—	採用試験の申込みは、令和3年度からオンラインで申請する方式とした。面接は、対面を基本としていくこととなったが、コロナの感染状況等により対面での面接ができない場合は、オンライン面接を行うこととした。	導入	導入	19
④	新しい診察手法の導入	外来診察において、マイナンバーを活用した自動受付・自動会計システムを導入します。また、診察内容、投薬情報について、マイナンバーを活用して紐づけを行います。	市立病院		検討	◎	—	オンライン資格確認システムの導入を決定し、業者と契約済み。令和3年10月に稼働予定である。	検討	導入	20
		○病院に出勤がなくても検診が受けられる仕組みとして、また、高齢者にオンライン診療を普及するため、検診機器やオンライン診療システムを設置した車両を公民館や患者の家に配車し、オンライン診療を実施します。 ○上記で集積させたデータを健康事業に活用します。	車両を利用したオンライン診療の導入	市立病院		検討	◎	—	運用面の課題により車両に関する部分は見送りとしたが、各種オンライン診療システムの比較検討を行い「CLINICS」を導入した。令和3年度稼働予定である。	検討	導入
⑤	広報手段のマルチチャネル化	○広報手段のマルチチャネル化を更に推進するために、LINEに市のアカウントを開設し、プッシュ型の情報発信を行います。	秘書課		運用開始	○	導入完了	令和2年11月にLINEアカウントを開設し、53件の情報発信を行った。令和3年3月31日現在の登録者数は2,572名である。			22
		○市長と市民が意見交換を行う市政懇談会について、オンラインでのライブ配信を行います。また、配信内容を録画し、オンラインで視聴ができるようにします。	市政懇談会のライブ配信	秘書課		実施	○	導入完了	市長によるライブ配信(市政懇談会)を計6回行った。ライブ配信ツールは、ユーチューブ・インスタグラムとした。		
⑥	問い合わせにおけるチャットボットの導入	市ホームページへの問い合わせに対応するチャットボットの導入を検討します。	健康増進課	社会福祉課、子ども福祉課、高齢福祉課、こども育成支援センター、秘書課	検討、導入	○	導入完了	市公式LINE内にチャットボットを導入した。			24

【DX計画 令和2年度実績調査 個別計画状況表】

進捗度の凡例	
計画より早く進んでいる	◎
計画どおり進んでいる	○
計画より遅れている	▲

計画の柱 2. 効率化を追求した行政運営

(1) テレワークの拡大とペーパーレスの推進

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
① テレワークの拡大	<p>○試行実施を行ったテレワークについて、実施における規程等を整備し、本格的な導入を行います。</p> <p>○タブレット端末によりテレワークができる環境を構築します。</p> <p>○テレワークにおいては、電話を利用せずに効率的に職員間でコミュニケーションをとる必要があるため、Webツールの導入を検討します。</p>	規程の整備	秘書課		整備	▲	—	令和2年度中の整備はできなかった。令和3年4月以降に早急に整備する。		整備	25
		機器環境の整備	デジタル戦略課		機器やネットワーク環境の整備(同時に30人が利用可能とする)	▲	—	PCの調達、モバイルルーターの調達を行った。令和2年度中には機器は確保できたが、クライアント認証手続きに支障が生じ、30人同時利用は令和3年5月になる。	効果検証を行った上、同時利用可能人数の拡大	効果検証を行った上、同時利用可能人数の拡大	26
		コミュニケーションツールの導入	デジタル戦略課		検討	◎	—	セキュリティの高い行政専用回線で利用できる自治体専用のビジネスチャットである株式会社Logoのチャットを試行運用し、令和3年3月に導入した。令和3年度は部長、課長の緊急連絡用のツールとして活用していく方針である。	導入	導入	27
② タブレット会議の拡大	<p>○現在、部課長が参加者となる内部会議は、原則としてタブレット会議を実施していますが、外部委員を含む会議等においても、費用対効果を見込める場合には、タブレット会議の導入を進めます。</p> <p>・農業委員会において、タブレットを利用して現地調査を行い、申請書及び議案を電子化し、ペーパーレス会議又はWeb会議により会議を実施します。</p> <p>・介護認定審査会において、タブレットを利用したペーパーレス化を検討します。また、Web会議の実施についても検討します。</p>	農業委員会でのタブレットの活用	農業委員会事務局		検討、導入	○	導入完了	タブレットを令和3年2月に導入し、申請書及び議案書、通知文などを電子化した。定例総会で審議する各種申請についても、タブレットを使い現地調査を行うなど、定例総会をペーパーレス会議とした。			28
		介護認定審査会でのタブレットの活用	高齢福祉課		検討	○	—	在宅ワークの増加やGIGAスクール構想でタブレット端末の需要が増加した影響により、調達に時間を要したため、令和3年度に繰り越した。令和3年9月頃契約し、12月頃実施予定である。	導入	導入	29
③ 電子公印の導入	<p>○電子署名を利用し、公印の電子化に対応します。これにより、送付文書への押印の省略と、電子契約を可能とします。</p> <p>・電子契約については、年間の契約件数が多い光ファイバの回線使用権に関する契約において導入し、その後、対象の拡大を検討します。</p>	電子署名の導入	デジタル戦略課	総務課	導入	○	取り下げ	令和3年1月29日に地方自治法施行規則の改正が行われ、新たに立会人型電子契約の方法が追加された。そのため当事者型電子契約で必要な電子署名を取得する必要がなくなった。本市は立会人型電子契約を進めるため項目を取り下げることとした。			30
		電子契約の導入	デジタル戦略課	財政課	光ファイバの回線使用権に関する契約について導入	▲	—	電子契約サービスを提供している弁護士ドットコム社のクラウドサインの実証実験を行った。しかしながら、契約相手方も電子契約に同意する必要があるため、導入までは至らなかった。	対象案件の拡大	運用規則の整備	31
④ ペーパーレス化推進のための庁内環境の整備	<p>○タブレット会議やWeb会議の利用拡大に伴い、庁舎内にインターネット回線の無線LANを導入します。</p> <p>○複合機にセキュリティプリントを導入し、プリントミスの防止と情報セキュリティの向上を図ります。また、各課に設置している情報系プリンターは、ペーパーレス化及び事務の効率化のために廃止します。</p>	無線LANの導入	デジタル戦略課		検討、導入	○	導入完了	無線LANを本庁舎内(13か所)に設置した。令和3年度は無線LANの設置による効果(携帯電話回線通信料の低減)を検証し、他施設にも導入を検討していく。			32
		セキュリティプリントの導入	資産経営課	総務課	複合機の更新に合わせて検討	○	—	複合機の更新を延長することとしたが、更新を待たずにセキュリティ機能のある複合機で実施するよう職員に周知していく。	導入	導入	33
		プリンターの廃止	デジタル戦略課			○	—	令和2年度中に故障によってプリンターを撤去した部署はない。令和3年度以降に、故障あるいはドラム、トナーがなくなり次第順次撤去していく。	廃止	廃止	34
⑤ 事務文書の電子化の推進	<p>○組織内部でのやりとり等のための文書は、原則として電子化に対応します。</p> <p>○組織外部に発送を行う文書については、できる限りメールやかさめ～等を利用します。</p>	文書の電子化の推進	総務課		実施	○	—	組織内部の文書は、押印廃止により各申請を電子化した。組織外部への文書は、対応が未了のため、令和3年度に推進していく。		実施	35

【DX計画 令和2年度実績調査 個別計画状況表】

進捗度の凡例	
計画より早く進んでいる	◎
計画どおり進んでいる	○
計画より遅れている	▲

計画の柱 2. 効率化を追求した行政運営

(2) RPAやシステム化による業務の効率化

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度				令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール	変更スケジュール		
① RPAの対象業務の拡大	<p>○現在、5つの課(税務課、子ども福祉課、学務課、水道課、会計課)の業務にRPAを導入していますが、今後もRPAによる効率化が期待できる業務については、積極的に導入を進めます。</p> <p>・消防システムへの入力業務、予防接種事業(AI-OCRで実施)、医療福祉費自己負担金支給申請事業(AI-OCRで実施)、犬猫不妊去勢手術補助事業、電子入札に係るデータ入力業務において導入を検討します。</p>	消防システムの入力業務における導入	消防本部予防課		導入	○	導入完了	消防システム(査察指導係2業務・危険物規制係2業務)のRPAシナリオを作成した。令和3年4月に施行運用を開始する予定である。令和3年度は追加2業務のシナリオを作成する予定である。			36	
		予防接種事業における導入	健康増進課		検討	○	—	令和3年度の導入に向けて、業務フロー及び仕組みの確認を行った。	導入	導入	37	
		医療福祉費自己負担金支給申請事業における導入	保険年金課	各支所市民窓口課	検討	○	—	令和3年度の導入に向けて、業務フロー及び仕組みの確認を行った。	導入	導入	38	
		犬猫不妊去勢手術補助事業における導入	環境保全課		検討	○	取り下げ	RPAで処理するのは困難な業務フローがあることが判明したため、項目を取り下げることにした。	導入		39	
		電子入札に係るデータ入力業務における導入	財政課		検討	○	取り下げ	RPAで処理するのは困難な業務フローがあることが判明したため、項目を取り下げることにした。	導入		40	
② 現地調査へのタブレットの活用	<p>○各種の現地調査については、現地に必要な地理情報等を確認できないことなどにより非効率な状況が生じているため、タブレットを活用し、現地に必要な情報を確認できるようにすることで、調査を効率化します。</p> <p>・家屋調査、空家調査、水道の配管状況調査について、タブレットからGISにアクセスし、地理情報等を確認できるようにします。</p> <p>・生活保護業務について、紙で管理しているケース記録を電子化し、タブレットから記録にアクセスできるようにします。</p>	家屋調査についてタブレットを活用	税務課		検討	○	—	家屋評価システムでのタブレット調査による事務処理方法についてベンダーに確認の結果、事務の改善が見込まれないため、現状では導入しないこととした。	導入	検討	41	
		空家調査についてタブレットを活用	企業誘致・移住推進課		検討	○	—	空家調査システムをタブレットで運用できるように開発している企業があり、その進展状況を注視し、再度検討することとした。	導入	検討	42	
		水道の配管状況調査についてタブレットを活用	水道課		検討	○	—	水道業務のシステムベンダーとシステムの仕様について、調整を行った。	導入	導入	43	
		生活保護業務についてタブレットを活用	社会福祉課		検討、導入	○	導入完了	令和3年3月から運用を開始した。			44	
		乳幼児健康診査業務における管理システムの導入	健康増進課		検討	▲	—	令和2年度中には適切なシステムが見つからなかった。引き続き検討する。	導入	検討・導入	45	
③ システム導入による内部業務の電子化	<p>○システム化により効率化が図れる業務については、積極的に電子化を検討します。また、業務において利用している台帳が紙で作成されているものについては、台帳の電子化を検討します。</p> <p>・乳幼児健康診査業務について、現状、紙の台帳に健診結果を記録し、手作業でデータ化しているため、問診票にAI-OCRを導入して台帳を電子化し、合わせて管理システムを導入します。</p> <p>・生活保護業務で利用するケース記録を電子化し、合わせて管理システムを導入します。</p> <p>・保育所業務について、登校所管理や延長保育料の計算、保育日誌・指導案の作成、園児台帳の作成等が可能なシステムを導入します。</p> <p>・職員の旅行命令申請・決裁については、庶務システムを導入し、電子決裁により処理することとし、旅費の支払いについては、現金払いから口座振込に変更します。</p>	生活保護業務における管理システムの導入	社会福祉課		検討、導入	○	導入完了	令和3年3月から運用を開始した。			46	
		保育所業務におけるシステムの導入	各保育所		検討、導入	○	導入完了	登降所管理や延長保育料の計算、保育日誌・指導案の作成、園児台帳の作成や、スマートフォンアプリを利用した保護者への連絡が可能な保育業務システム「チャイリーフスペース」を導入した。			47	
		旅行命令事務の電子化	秘書課	会計課			▲	—	人事給与システムの導入に合わせて実施予定であったが、システム調整に時間を要したため遅れが生じている。令和3年度、早急に対応する。	旅費の口座振込の開始	旅費の口座振込の開始	48
		市と外部団体との情報交換システムの導入	市と体育協会所属団体との間で情報交換等を行うためのシステムの導入	スポーツ振興課		検討	○	取り下げ	スポーツ協会事務局と調整をしたが、協会所属団体とはe-mailで情報交換することとなったため、項目を取り下げることとした。	導入		49

【DX計画 令和2年度実績調査 個別計画状況表】

進捗度の凡例	
計画より早く進んでいる	◎
計画どおり進んでいる	○
計画より遅れている	▲

計画の柱 2. 効率化を追求した行政運営

(3) データの利活用

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
① GISの活用とオープンデータ化	<p>○GISは、地図情報と位置に関する様々な情報を連携させることができる有用なシステムであるため、積極的に活用を進めます。</p> <p>○GISに記録した情報は、市民サービスの向上のため、できる限りホームページ上に公開します。</p> <p>・下水道台帳について、現在は紙での管理となっているため、GISにより電子化することで、閲覧申請への対応の迅速化や職員の業務の効率化、災害時のリスクマネジメントの向上等を図ります。また、登録した情報はホームページ上で公開します。</p> <p>・都市計画用途地域図について、GIS上にデータを作成していますが、利用者がインターネットで詳細個所の確認をすることができないため、ホームページ上で情報を公開します。</p>	下水道台帳のGISとの連携	下水道課		検討	○	—	現在、紙ベースの下水道台帳を電子化するための方法を多方面から情報の収集行っている段階である。	検討	検討	50
		都市計画用途地域図の公開	都市計画課		検討	○	—	用途地域図のホームページ上での公開に向けて、リンク先となる「いばらきデジタルマップ」のシステム管理者と掲載データ列について調整中。今後、データの調整が終了次第、いばらきデジタルマップへのリンクを市ホームページへ掲載し、公開する予定である。	公開	公開	51

【DX計画 令和2年度実績調査 個別計画状況表】

進捗度の凡例	
計画より早く進んでいる	◎
計画どおり進んでいる	○
計画より遅れている	▲

計画の柱 3. デジタル化の実現のための環境整備

(1) マイナンバーカードの普及

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
①	マイナンバーカードの取得促進	企業への訪問	市民課		実施	○	導入完了	市長をはじめ副市長・教育長・部長・支所長による市内企業訪問を行いカード取得とアマビエ登録促進のPRを行った。354事業所を訪問、うち19事業所からカード作成申請受付の依頼を受け企業に出向き286件の受付を行った。			52

(2) デジタル・デバイドの解消

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
①	市民の情報リテラシーの向上	講座の実施	公民館		実施	◎	導入完了	笠間公民館及び友部公民館を会場にスマートフォン講座を実施し、17名が参加した。令和3年度も引き続き実施していく。			53
②	小・中・義務教育学校におけるICT環境の整備	タブレット端末等の導入	学務課		導入	○	導入完了	タブレット端末の導入は、令和3年3月を予定していたが、全国的に機器調達が集中してしまい、令和2年度中の導入に遅れが生じた。授業については、令和3年度から開始する。			54

(3) 人の流れの創出と受入体制の強化

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
①	サテライトオフィスの設置	モデルオフィスの設置支援及びオペレーション等の仕組みを構築	企画政策課		検討、設置拡大	○	導入完了	公民連携により、「ETOWA KASAMA」JOUT WORK IROHAJのワークスペースを開設し、笠間暮らしを体験するため、モデルテレワークツアー等を実施し、人の流れの恒常化に向けた仕組みの構築を図った。			55
②	観光地への無線LANの導入	無線LANの導入	観光課	都市計画課	検討	○	—	【北山公園】計画を前倒して導入できた。 【笠間芸術の森公園】入札の不調により遅れが生じたが、計画どおり令和3年度に導入する。	導入	導入	56

(4) 生活サービス向上のためのデータ基盤の整備

施策	施策の内容	項目	担当課	関係課	令和2年度			令和3年度		通番	
					計画スケジュール	進捗度	達成度	取組内容または結果	計画スケジュール		変更スケジュール
①	スマートシティ・プラットフォームの整備	連携データベースの構築	企画政策課		検討、構築	▲	—	システム構築の業務委託に向け、笠間ファン倶楽部会員のデータの収集の準備及びシステムの仕様等の協議を行った。		検討、構築	57